

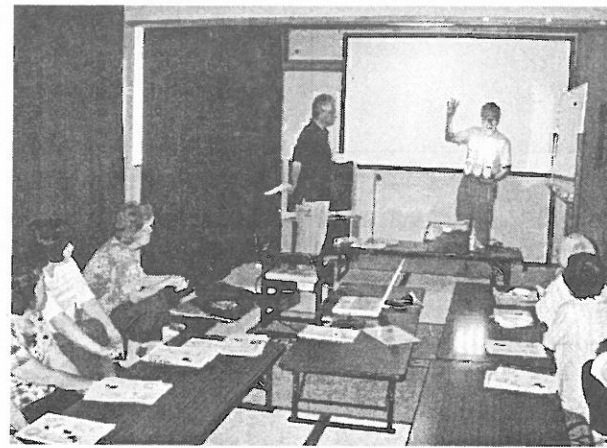
## 二酸化炭素削減部会

地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減のための活動を続けています。

### 家庭でできる省エネルギー活動について話し合っています 地球のためのエコロジー・家庭のためのエコミーです！

6月24日小坪一丁目亀ヶ岡地区自治会の女性会員の方たちの集まりである「亀和(きわ)会」で、「身近な省エネ」の講演会を開催しました。講師は当部会員の安藤さん。出席者25名で「地球温暖化の原因と影響」、「身近な省エネ 我が家の例から」をテーマに講演し、省エネ実験も行いました。質疑応答の時間では、活発な意見が取り交わされ、省エネの意義を理解していただく良い機会になりました。

逗子市内の自治会でのこのような講演会を開催したのは初めてのことでした。今後も家庭内の仕事をテーマに講演会を開催していきたいと思っています。町内会、自治会の方々でご希望があれば事務局までご連絡ください。



## 夏休み子どもフェスティバル

### 「いろいろな電池をつくろう」エネルギーや省エネについて学ぶ！

夏休みの「第5回子どもフェスティバル」に「葉っぱのひろば」のお母さん方とコラボレーション、協働して参加し、小学校4年生～6年生の子どもたちと、身近な材料でいろいろな電池を、みんなで実験しながら作る会を開催しました。

塩水の中に銅板、亜鉛板、木炭を漬けて電池をつくり、どの板の組み合わせが一番電気が流れるかを計りました。この電池を繋ぎ合わせて小型のオルゴールを鳴らしてみました。

次に水分の多い西瓜(すいか)の皮に塩をふりかけ、そこに銅板、亜鉛板を挟んでオルゴールを鳴らしたり、一円玉4枚、十円玉4枚と塩水に浸したキッチンペーパーで44円電池も作りました。はさみを使ったり、電線を繋ぎ合ったり、楽しい実験と工作に子どもたちも歓声を上げて取り組み、お母さん方も大喜びでした。

手回し発電機の実験では、電灯をつけるのに予想以上のエネルギーが必要なことを体感し、省エネの大切さを実感したことから、家庭で取り組む「省エネチェックシート」の記入も行いました。

「葉っぱのひろば」の村上さんの感想では、ずしし環境会議と協働してイベントを持つのも3年目になり、いろいろな形で子どもたちに環境の大切さを伝えて来ました。実験が主体の今回の会では、子どもたちが疑問や分からない点を、自分の手で解決しようという姿勢が見られ、メンバー一同感激しています。



(写真提供：井手部会員)

二酸化炭素削減部会は、毎月第2木曜日の10:00-12:00  
市役所内の5階会議室で例会を開いています。この活動に興味のある方はぜひご参加ください。

# ずしし かんきょうかいぎ ニュース

第23号 2010年10月  
事務局 逗子市環境都市部環境管理課  
逗子市逗子5-2-16  
Tel 046-873-1111

発行 ずしし環境会議(エコリーダーズ会議)

## 今年も「環境会議展」を開催しました

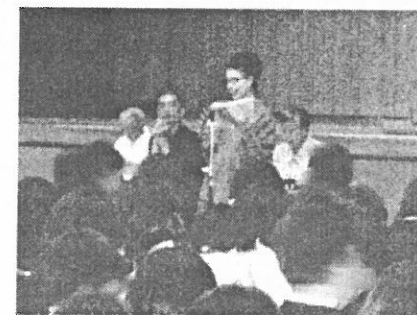
6月の環境月間中の6月5日(土)から11日(金)に市役所1階市民ホールにおいて、ずしし環境会議「まちなみと緑の創造部会」「ごみ問題部会」「二酸化炭素削減部会」が日頃の活動状況や、環境に関することについて、パネルを作成し展示しました。期間中には540名の方々が来場し、ずしし環境会議のメンバーからパネルの説明を受けたり、身近な環境問題についての熱心な意見交換をされたりしました。さらに、今年は、鎌倉ケーブルTVが取材にきて、環境会議展の様子が放映されました。

また、環境展から引き続き、久木中学校が実施した「田越川の水質調査」、「ミックスペーパーの処分地の調査」などの研究成果の発表も展示しました。

今年も11日の最終日に、小坪小学校4年生の生徒約70名が見学に来場し、数班に分かれてずしし環境会議のメンバーから展示の内容について説明を受けました。



ずしし環境会議各部会は、市内の小・中学校の「出前授業」を積極的に取り組み、子どもたちと一緒に環境について考えています



今年も1月12日逗子中学校1年生、5月28日久木中学校1年生、6月19日沼間中学校1年生、7月9日久木中学校2年生、9月24日池子小学校4年生に実施しています。

地球環境を守るために、次の世代の子どもたちのために、部会員が真剣に取り組み、子どもたちも驚くほど熱心に取り組んでくれます。多くの小・中学校からのご依頼をお待ちしています。また、保護者の方々もぜひご参加ください。

## 今年も「市民まつり」に「ずしし環境会議」が参加します！ 10月17日(日) (予備日：10月24日(日)) 場所：第一運動公園 テニスコート側駐車場

— 環境基本計画に基づく「行動等指針」が改訂されました —

「行動等指針」は、環境の保全及び創造に向けて、平成22年度からの3年間に市民、事業者、市それぞれが具体的に取り組む内容を明らかにしたものです。

### 市民の行動

- ◎市民が主体となって行う各種意識啓発活動に積極的に参加します。
- ◎紙・布類の分別排出を徹底します。
- ◎可能な所へは自転車、徒歩で出かけます。 など

### 市の行動

- ◎まちなみ管理に関する各種体験学習会を支援します。
- ◎公共施設などでの生ごみの減量化に努めます。
- ◎住宅用太陽光発電システムの設置助成します。 など

### 事業者の行動

- ◎食品リサイクル法に基づき、食品残さの排出抑制やリサイクルを実践します。
- ◎工事における廃棄物の適正処理及びリサイクルの実施を進めます。 など

※詳細は下記ホームページへ(環境管理課に冊子があります)

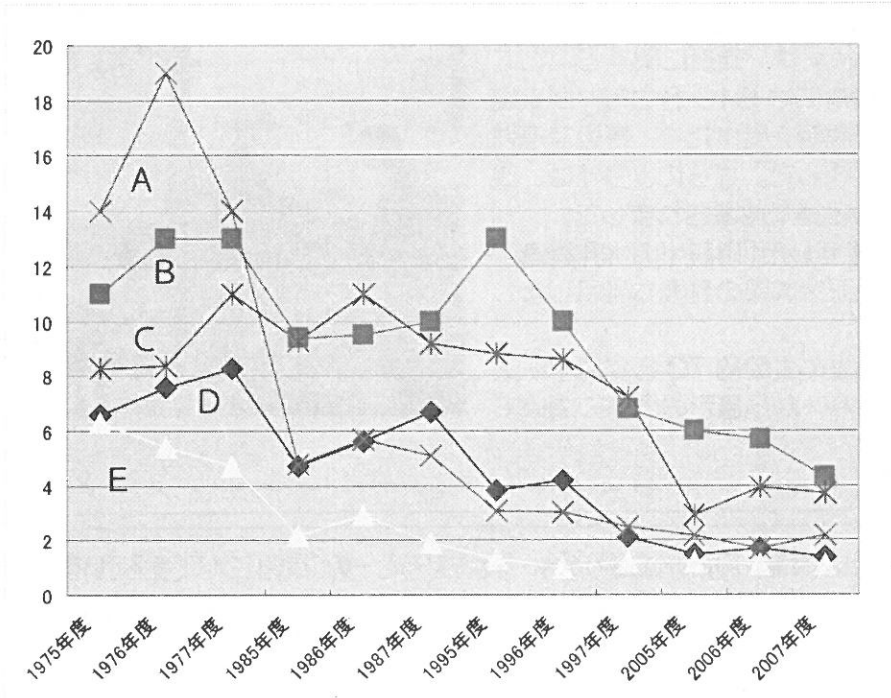
<http://www.city.zushi.kanagawa.jp/syokan/kankyo/heisei22%20koudoutousisin.pdf>

# まちなみと緑の創造部会

当部会では、「逗子の自然環境を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。

## 久木中学校2年生の総合学習

私たちは、2006年から久木中学校の総合学習のお手伝いをさせて頂いています。  
今回は水質をテーマに、授業を行ないましたのでその内容を一部ご紹介します。



左のグラフは、  
田越川・なぎさ橋 (逗子)  
平作川・夫婦橋 (横須賀)  
森戸川・森戸橋 (葉山)  
鶴見川・大綱橋 (横浜)  
多摩川・田園調布取水堰 (東京)  
の5地点での1975年から2007年までの水質 (BOD\*) の変化を表しています。  
さて、どの地点がどのグラフかわかるでしょうか？  
ちなみに久木中学校2年生の中では数名がパーフェクトの正解をしてくれました。

\*BOD (生物化学的酸素要求量)  
=溶存酸素の存在下で、水中の有機物質などが生物化学的に酸化・分解される際に消費される酸素量のこと、数値が大きくなるほど汚濁していることを示す。河川の水質汚濁の一般指標として用いられる。  
くらす魚の目安として、2以下:イワナ・ヤマメ、3以下:アユ・サケ、5以下:コイ・フナ、と言われている。

5つの川を見たことがない生徒も多いことから、この問題を考えるために必要な情報を生徒に考えて質問してもらいました。生徒からは、「近くに工場が多い川はどれですか?」「生き物が多い川はどれですか?」「近くに人が多く住んでいるのはどの川ですか?」という質問がありました。どれも的確な質問だと思います。

このグラフから、現在の川の水質を決める大きな要素は、人間が出す排水 (下水) の浄化施設であることがわかります。川の周辺の自然度が高く、大きな工場もない、人口密度も低い森戸川が、2007年時点では、5地点の中で相対的に汚濁度が高い川であることはおもしろい事実だと思います。

ただ、一方で、森戸川には、既に田越川で随分少なくなってしまった魚 (例:アブラハヤ) などの生き物が今でもたくさんくらすしているという事実もあります。このような一見矛盾するような事実の例示から、「川の環境を良くするとはどういうことなのか?」を考える授業を行なっています。

正解はこちら⇒ A. 平作川、B. 鶴見川、C. 森戸川、D. 多摩川、E. 田越川

# ごみ問題部会

ごみ問題部会はごみの減量化・資源化をテーマに活動しています。

## 今年も市民まつりはゴミ箱なしまつり!!おはよう日本でも紹介された生ごみ処理器バクテリアdeキエーロを展示説明します

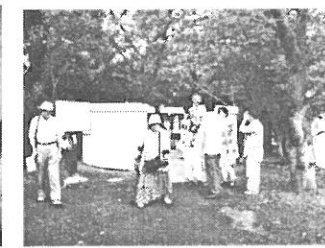
ごみ持ち帰りの定着に向け市民まつり実行委員会と共に、ずしし環境会議メンバーはボランティア監視員として活動に参加します。市民まつりに参加される皆様の「ゴミ箱なし」に協力をお願いします。  
展示テントでは、今、注目のランニングコストゼロ、虫にもおいても無い生ごみ処理器バクテリア de キエーロ見に来てね!

### 報告 葉山町のごみ、一色台モデル地区分別収集改編実験 (戸別収集と資源小屋) を見学してきました。

8/13 ごみ問題部会の7名参加。始めに、葉山町役場で環境課雨宮さんと松岡さんから説明を受けました。  
葉山町では2008年からゼロ・ウェイスト政策を行っていますが、一色台自治会では、今年4/1より地区のステーションを廃止し、戸別収集と資源小屋での拠点回収を始めたそうです。またこの地区は、自家生ごみ処理も80%以上の方にやってもらっており、燃やすごみが70%も減り、目標の50%を軽く越えてしまったそうです。  
戸別収集品目; 燃やすごみ、容ブラ、その他プラ、草木類  
資源小屋での拠点回収; アルミ缶、スチール缶、スプレー缶、透明ビン、茶色ビン、その他の色ビン、一升ビン、ペットボトル、白トレ、紙パック、新聞、雑誌、ダンボール、ミックスペーパー、古布・衣類、金属類、小型電気製品、乾電池、蛍光灯、電球、水銀式体温計、廃食油、埋立ごみ  
その後、高台の一色台団地に現地へ向かいました。自治会で中心的に活動されているバクテリア de キエーロの考案者でもある松木さんからもお話を伺いました。  
資源小屋は、団地の中の公園の一部にあり、10畳ぐらいのこじんまりした自然と調和の取れた建物?で屋根の無い円形の内部に入ると棚がきれいに (ごみなのに) 収まっていて、資源 (商品) としてピンカンもきれいに洗って整然と分別されていて感動しました。自治会の方が、この資源小屋の建設そして、以降の整理、整頓、工夫を全面的に担われているとのことでした。  
町の政策と地域の方の力で燃やすごみ70%の削減は、やれば出来ることを実感した、有意義な見学でした。



葉山町役場で説明を聞く



資源小屋はこんなところ



きれいに分別され、持参の方はピンカンをその場で分別

### 市民の皆さん、マイバック持参運動に参加を!

神奈川県では地球温暖化防止のための施策の一つとして「レジ袋削減に向けた取組の実践に関する宣言」をしました。逗子市も市商工会もそれに賛同して署名しました。そこで私たち消費者も事業者もレジ袋削減に取組もうと、6/23に「レジ袋削減に向けたキックオフイベント part1」の会合を企画し、多くの団体の代表の方が参加して下さり大盛況に第一歩を踏み出しました。  
当日参加団体: 逗子市商工会、逗子銀座商店街、逗子市食生活改善推進団体若宮会、逗子友の会、ソロプチミスト逗子葉山、逗子ロータリークラブ、篠の会、逗子市消費生活研究会、ガールスカウト神奈川第39団、ボーイスカウト逗子第1団、同第2団 (順不同)  
各団体の方が会員に呼びかけていただき、県宣言への署名に向けて9/14に第二回の会合を持ちます。  
より多くの参加団体募集中です!!

### ごみ減量知恵袋 <燃やすごみをもうひと分別する>

燃やすごみの中には、雑多なものが混じり合っています。そこでこれをもう少し細かく分別してみると、すっきりと、清潔になり、さらにはごみの減量にもつながります。  
例えば、生ごみを分別してみましょう。残りの燃やすごみは、今までとはずいぶん様子が違ってきます。  
すでに生ごみを分別処理している方は、「湿りもの」(油を拭き取ったキッチンペーパーなど)の項目を加えてみるのはいかがでしょうか。残りは「乾きもの」のみとなって、一段と扱いやすくなりますよ。(その中からミックスペーパーを救い出しましょう。)  
タバコを吸う方は「吸い殻分別」もおすすめです。ゴミ箱からあのいやなヤニ臭がなくなります。

亀岡八幡宮祭礼の2日間夕刻より、八幡宮と市役所周辺のごみ持ち帰り呼びかけと清掃活動を行いました。また花火大会開始直前にも波打ち際からごみ持ち帰り呼び掛けキャンペーンを行いました。

